

「臍帯血移植患者における HHV-6 脳炎診断前の看護師が捉える症状： 後向きカルテ調査による HHV-6 脳炎を発症しなかった患者との比較」 に対するご協力のお願い

研究責任者 藤田 志保
実務責任者 中里 雅子
研究機関名 慶應義塾大学病院
(所属) 看護部

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2022年1月1日～2024年12月31日までに、当院において臍帯血移植を受けた方が対象となります。なお、研究に参加したくない旨の表明があった方は、本研究の対象ではありません。

2 研究課題名

承認番号 20251087

研究課題名 「臍帯血移植患者における、HHV-6 脳炎診断前の看護師が捉える症状：後向きカルテ調査による、HHV-6 脳炎を発症しなかった患者との比較」

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学病院 看護部

研究責任者

(看護師長) 藤田 志保

実務責任者

(看護師) 中里 雅子

4 本研究の目的、方法

本研究の目的は、臍帯血移植後に、HHV-6 脳炎を発症された方が確定診断に至るまでに、看護師

がいつ、どのような症状を観察しているかについて明らかにすることです。本研究の実施により、HHV-6 脳炎に伴う具体的な症状を特定し、意図的な観察と早期発見に繋がる知見を得ることを期待しています。方法は、対象となる方の電子カルテ情報を後方視的に調査し、分析します。

5 協力をお願いする内容

対象患者さんの診療記録（年齢、移植日、HHV-6 脳炎発症日、HHV-6 脳炎症状に関する記録など）を匿名化したうえで研究データとして使用させていただきます。新たな検査・処置・費用などは一切発生しません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027年3月31日

7 外部への試料・情報の提供

本研究では、取得した情報を他機関に提供することはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療に関する情報の利用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

実務責任者：中里 雅子 nakazato.masako@adst.keio.ac.jp

慶應義塾大学病院 看護部 10C 病棟

東京都新宿区信濃町 35

（代表電話番号）：03-03-3353-1211 （内線）65671 （平日 9:00～16:00）

以上